

コード	304010403
記入日:	H22.6.17

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木宣貴
担当者	尾上富幸

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	延長保育事業補助金事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3		
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2		
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1		
事務事業コード	3040104	事務事業名称	次世代育成支援対策事業費	細目コード	256		
関連計画	次世代育成支援行動計画		法令・条例規則等	新上五島町民間保育所運営費補助金交付要綱			

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	民間保育園	(対象指標1) 実施保育園数 6箇所				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	延長保育実施保育園:桐保育園、青葉保育園、白菊保育園、歓喜園、つぼみ幼児園、福見保育園 補助金額(1園あたり):4,500,000円	*****	*****	*****	実施保育所数÷申請保育所数	*****
①		実施保育所数	6箇所	100%		平成21年度
(達成率分析)		申請があった全保育所に補助金を交付した				
②		*****	*****	*****	*****	*****
(達成率分析)						
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
保護者の就労形態の多様化に対応するため、午前7時から午後6時30分まで保育を行う。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	利用者数÷申請者数	*****
		①	平均利用者数	34人	100%	
(達成率分析)	延長保育が必要な世帯は利用している					
②		*****	*****	*****	*****	*****
(達成率分析)						

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 箇所	25	25	20	5	5					
	②										
成果指標	① 人	138	138	104	34	34					
	②										
総事業費C(A+B)	千円	123,384	123,384	96,384	27,000	27,000					
直接事業費A	千円	123,384	123,384	96,384	27,000	27,000					
人件費B	千円										
内訳	従事職員数	人									
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	63,700	63,700	49,000	14,700	14,700				
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	59,684	59,684	47,384	12,300	12,300					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	保護者の就労形態が多様化している中、子育て支援として必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	保護者の就労形態が多様化している中、子育て支援として必要である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	保護者の就労形態が多様化している中、子育て支援として適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	延長保育を必要としている保護者に対応している。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	延長保育実施保育園を増やし保護者の利便性を図る。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	共働き世帯が多くなり、就労形態が多様化している今、延長保育を行わない事は考えられない。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	当町の現状では、考えられない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	21年度から延長保育事業実施保育所数が5箇所から6箇所に増える事に伴い、1園に対する補助額の減額を行う。(4,819,200円→21年度4,500,000円→22年度以降4,300,000円)
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	人件費は計上していない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	延長保育事業を補助制度で実施した当初から利用者負担はなしでした。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	保護者の就労形態が多様化している中、子育て支援として必要である。
		有効性	ニーズ調査を行い必要に応じた延長保育の実施を検討する。
		効率性	延長保育利用の保護者負担については、私立園長会議及び次世代育成推進協議会で協議した結果、負担無しとなったが、今後も協議を続けていく。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
有効性		保護者の就労形態の多様化に対し、そのニーズに対応できている。	
効率性		延長に対する経費は受益者負担が原則であり、前年度検討を指摘していたが方針が示されていない。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。